

# 常任委員会の審査報告

## 総務常任委員会

### 二本松市一般会計補正予算について

**問** 社会保障・税番号制度負担金の積算根拠は。また、情報提供・照会を行うシステムを共同整備する中間サーバーの設置箇所は。

**答** 国で地方公共団体の規模やデータ量を勘案し按分した負担金となっている。中間サーバーの設置箇所は東日本、西日本それぞれ1箇所を想定している。

**問** 社会保障・税番号制度導入に伴う税電算システム改修委託料の財源の内容は。

**答** 改修委託料の3分の2が国庫補助金、残りが一般財源である。



机上審査の様子

## 市民産業常任委員会

### 二本松市一般会計補正予算について

**問** さくらの郷の運営経費の増について、浄化槽の新設とあるが、今まではなかったのか。また、新設する浄化槽は何人槽か。更に、新設する災害対応型バルクとはどういうものか。

**答** さくらの郷の増築計画を進めている中で、既存の130人槽の浄化槽では処理能力が不足するため、230人槽の新たな浄化槽を設置する。災害対応型バルクは、現在使用しているLPガス50kgボンベ10本を、980kgのタンク1基にまとめて設置するものである。

**問** 農地中間管理機構について、二本松市で現在機構に土地を貸し出すという人は何人いるか。また、農地の貸し借りについて、この機構と農業委員会がどのようにかかわるのか。

**答** 農地中間管理機構と二本松市とで正式な委託契約がまだ済んでいないため、利用者もいない状況である。農業委員会とのかかわりについては、今後も農地の貸し借りについては農業委員会で確認されるものと考えている。

**問** 防犯対策事業について、商工会議所が防犯カメラを21台設置するものに対して補助するということであるが、設置を予定している箇所について把握しているか。

**答** 本町の裏通り、お城山周辺、岳温泉、高田橋入

口を含め、二本松地域の21箇所に設置する予定となっている。

**問** 住民基本台帳のマイナンバー制にかかるシステム改修について、外国の例では他人がなりすまして番号を取得する犯罪が急増している。個人情報漏洩させない対策はどうするのか。

**答** システムは国で作成、法定受託事務として市町村で運用しなければならないことになっているが、国はセキュリティを高め、外部から攻撃されないようにする方針である。

**問** 法テラスの相談実績はどのようになっているか。

**答** 弁護士等による法律相談と、行政書士や司法書士等専門家による相談を全て含んだ件数で、平成25年度は年間を通して約1,600件、1月平均130件となっている。平成26年度は8月までの5か月間で約700件、1月平均140件となっており、昨年度を上回る数字で推移している。



現地調査の様子(防犯カメラ設置箇所)

9月8日に付託された各議案は、9月12日～16日にかけて、各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日26日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

## 建設水道常任委員会

### 二本松市一般会計補正予算・市営住宅管理条例等の一部改正について

問 市営住宅の入居者選考にあたって、父子家庭の方はこれまでどのような取扱いがなされてきたのか。

答 入居者選考に伴う優先入居については、母子家庭のほか、生活保護の方や高齢者の方などが優先入居の対象となり、募集に際し入居者を募集する空き住宅のうち3割を優先枠として確保し、困窮度判定基準による点数を付け、点数の高い方を入居者に決定していた。これまで、父子家庭は優先枠の対象外であり、一般枠での入居募集であった。条例改正により、母子家庭、父子家庭とも同様の取扱いとなる。

問 安達駅周辺整備事業委託の東西自由通路整備工事については、平成28年3月までに完了する見込みか。

答 駅舎本体工事については来年12月に完成予定で

ある。今ある<sup>こせんきょう</sup>跨線橋の上り階段は取り壊す予定であり、完了は平成28年3月ということで現在進めている。



向原・上竹線（第2工区）整備事業 現地調査の様子

## 文教福祉常任委員会

### 二本松市一般会計補正予算等について

問 子ども・子育て支援新制度の導入に向け、関係条例を整備しているが、国が示した基準と異なる基準としたところは。

答 国の基準では、「虐待の禁止」の項目を謳っているが、市の基準ではさらに、虐待されている子どもを発見した場合に、速やかに市へ報告を求める「虐待の通告」に関する項目を追加した。

問 （仮称）にほんまつ保育所新築主体工事の再入札にあたり、入札内容を見直した点は。

答 設計内容と工期の見直しが主な変更点である。設計内容については、建築資材費及び労務費が上昇している状況にあったことから、上昇分を加味した建築単価とした。

問 建設予定の屋内市民プールについて、故障等に素早く対応できるような、施設管理システムの導入は検討しているのか。また、工事のスケジュールは。

答 施設管理システムに関しては、実施設計の内容

が固まった時点で、施設全体の管理方法とあわせて検討、判断する。工事は、設計業務完了後、早期に入札を行い、議会の議決を得て工事に着手し、平成28年度の早い段階でのオープンを予定している。



中里保育園での現地調査の様子